

### アジア各国の強者と競技 アジア太平洋剛柔会空手道選手権大会



▲賞状とメダルを手にする福山博貴さん(右)

平成27年11月25日からインドネシアのジャカルタで開催された「第6回アジア太平洋剛柔会空手道選手権大会」の型で優勝、組手で3位の成績をおさめた国士舘大学の福山博貴さん(豊原上町)が12月28日、市役所を訪れ、中村市長に優勝報告を行いました。

同大会は、国際空手道剛柔会や全日本空手道剛柔会が主催で、日本を含む国際空手道剛柔会の17カ国が参加。ジュニアからシニアまで約200人の選手が出場しました。

福山さんは「初の海外試合で、各国の選手から新たな発見があった。2020年の東京オリンピック出場も視野に入れ、さらに表現力や技の精度を磨きたい」と語りました。

### 友好都市 北海市で交流を深める 八代市青少年文化交流派遣団



▲会話が弾んだ餃子手作り体験

八代市青少年文化交流派遣団が12月8日から13日まで、本市の友好都市である中国・北海市を訪れ、同市の北海中学校(日本の高校に相当)の生徒と交流を深めました。

団員は八代白百合学園高等学校の生徒や引率職員など15人です。生徒たちは現地の高校生に着物や茶道などの日本文化を紹介しました。また、中国の茶道や伝統工芸などの体験・学習をしました。日中双方の民族衣装のお披露目会では、ファッションショー形式で1000人以上の観客の前で行われました。

生徒たちはすぐに打ち解け、英語や身振り手振りで積極的に笑顔でコミュニケーションをとっていました。

### 文部科学大臣表彰 郡築小学校放課後子ども教室



▲受賞報告に訪れた関係者

「郡築小学校放課後子ども教室」が文部科学大臣表彰を受賞したことに伴い、1月6日、同教室の関係者が市役所を訪れ、中村市長に受賞の報告をしました。

この表彰は、地域の人による学校支援活動のうち、活動内容が特に優れていると認められるものに対して毎年行われており、本市では初めての受賞になります。

同教室は週2回、放課後に空き教室などを利用して、小学1・2年生を対象に昔遊びやおはなし会、婦人会との交流活動など、さまざまな活動を行っています。

また、本島潤子コーディネーターをはじめ、地域の婦人会を中心とする8人の安全管理員のサポートにより、子どもたちが安全に楽しく学び、活発な活動ができるよう工夫を凝らした活動を行っています。

### 冬の風物詩 鏡オイスターハウス



▲器具を使ってかきの殻を開け、鏡オイスターを楽しむ客

「鏡オイスターハウス」が12月19日にオープン。開業から3年目を迎えました。鏡オイスターは八代海の恵みをたっぷり受けて育ったかき(品種:マガキ)で、濃厚でクリーミーな味わいと貝柱が他のマガキと比べても大きいのが特徴です。

新たな地域ブランド化を目指して、その養殖・販売・かき小屋の運用を鏡町漁業協同組合で行っています。同ハウスでは、漁師が収穫してすぐの新鮮なかきをはじめ、地元八代海で獲れた海鮮などを炭火で食することができ、今シーズンは3月末まで営業ができる見込みです。

熊本市内の大学に通う仲間4人で訪れていた園村憲司さんは「ホームページを見て来ました。身入りが良く、大変おいしいです」と満面の笑みで話しました。



## 100歳 おめでとうございます



松村 ヤチヨさん  
(日奈久塩北町)  
大正5年1月3日生

現在、施設で暮らしているヤチヨさん。5人きょうだいの次女として生まれ、結婚後は7人の子宝に恵まれました。園芸が趣味で、子育てをしながら大好きな花を育てました。病氣らしい病気をしなかったというヤチヨさんの長寿の秘訣は「食べ物好き嫌いがいいこと」。



村上 スエノさん  
(坂本町)  
大正4年12月30日生

現在、長男夫婦と暮らしているスエノさん。坂本町で5人姉妹の5番目として生まれ育ち、結婚後は農業を営みながら5人の子どもを育てました。畑仕事などよく体を動かしていたといい、食事が一番の楽しみです。長寿の秘訣は「何でも食べて、皆と仲良く話すこと」。



有馬 フミ子さん  
(中片町)  
大正4年12月19日生

4人きょうだいの次女として生まれ育ったフミ子さん。結婚後は夫と一緒に農業を営み、6人の子どもたちを一人前に育てようと、持ち前の強い性格で一生懸命やってきました。特に野菜作りが得意で、おいしい野菜料理が食卓に並びました。長寿の秘訣は「くよくよしないこと」。



伊香賀 キジユさん  
(葭牟田町)  
大正4年12月16日生

現在、施設で生活しているキジユさん。5人きょうだいの3番目として生まれ育ちました。結婚後は、夫がマッサージ師だったこともあり、施設の職員にマッサージをして職員をねぎらいました。長寿の秘訣は「好き嫌いをなく食べること」。



田口 シズエさん  
(日奈久馬越町)  
大正4年12月15日生

日奈久で10人きょうだいの3女として生まれ育ったシズエさん。結婚して5人の子どもを授かりました。和裁や編み物が得意で、子どもに服をよく作っていたといいます。夫の定年後は、2人で家庭菜園を楽しみました。長寿の秘訣は「忙しくしておくこと、体を動かすこと」。

## 選挙を学ぶ

### 八代農業高校で選挙出前授業



▲投票用紙を投函する生徒

1月12日、八代農業高校で「18歳選挙権の施行を見据えた高等学校における選挙（主権者教育）出前授業」が行われ、全校生徒や教員など約300人が参加しました。始めに、市選挙管理委員会事務局職員が講師を務め、投票することの意義、選挙の種類や流れ、投票の仕方などについて講義があり

ました。次に模擬選挙が行われ、ある東京の町で、広大な空き地をどう活かすかが焦点となった市長選が行われるとの想定で実施。選挙公報を読み、候補者の選挙演説を音声で聞いて誰に投票するかを決めます。生徒たちは少し緊張した面持ちで、投票用紙に候補者名を記名し、投票箱に投函しました。広瀬夢々花さん（3年）は「自分の1票が政治に関わってくるので、真剣に考えて投票しなくてはならない」と話しました。

## 全国有数のロボットを今年も展示

### 八代こども科学フェア



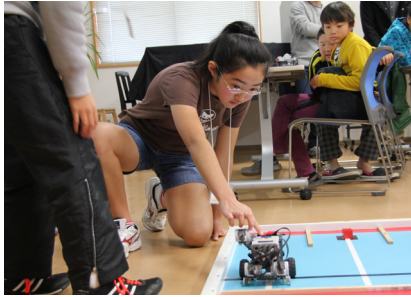
▲口から輪を発射する Challenger

1月9・10日、やつしろハーモニーホールで第19回八代こども科学フェアが行われ、2日間で約3000人の親子連れが来場しました。子どもたちは二足歩行ロボットの操縦やキーホルダーの製作などを楽しみました。また、熊本高専八代キャンパスロボコン部チームBが製作し、「全国高等専門学校ロボットコンテスト2015全国大会」でベスト4に輝いたロボット「Challenger（チャレンジャー）」の実演もあり、高さ3mのポールに輪が入る度に大きな歓声が上がりました。熊本市桜木東小1年の村上心彩（みきさい）さんは「簡単に操縦できる二足歩行ロボットがお辞儀したり下がったりするのが楽しかった」と笑顔で話しました。





### ロボット教室成果発表会



▲スタートボタンを押したら、後はロボットまかせ

12月19日、宮嶋財団ロボット教室成果発表会が宮嶋財団メモリアルホールで行われました。これは、同財団が小学生向けに9月から12月までの4カ月間、全12回で開催した講座です。この日は、受講者19人が7チームに分かれて、2回の試技でベストスコアを競いました。

満点で最優秀賞を獲得した、牛田翔大くん(代陽小4年)、上塚寛弘くん(松高小4年)、釜陽輔くん(太田郷小4年)は「ロボット教室がきっかけで、他の小学校の人と仲良くなれてよかったです」と話しました。

### 青森りんご出前講座



▲りんごを手に取り、固さや香りを確かめる児童たち

12月15日、郡築小学校で青森りんご出前講座が行われ、5年生35人が青森県や青森りんごについて学びました。

講師の青森県福岡情報センターの中村昌也さんが、数種類のりんごをテーブルに出して品種や特徴を話しました。大きさと色が違うりんごが出てくる度に、生徒から驚きの声が上がっていました。

受講した中野瑞歩さんは「りんごは、太陽に当たらないと赤くならないことを初めて知り、驚きました」と話しました。

### 絵巻で学ぶ妙見祭の歴史と民俗講座



▲妙見祭の素晴らしさを語る別府大学の段上達雄教授

12月12日、「絵巻で学ぶ妙見祭の歴史と民俗講座」(全8回)の最終回が厚生会館大集室で行われ、約50人が受講しました。この講座は8月から4カ月にわたって開催されました。

別府大学の段上達雄教授が「妙見宮祭礼絵巻に見る民俗」と題して講演。「八代妙見祭の特徴は、松井家の武士と八代の町民が一体となっていて、お互いを補完する形で祭事が進められている。そのコンビネーションが素晴らしい」と他の祭りと比較しながら語り、受講者はメモを取るなどして熱心に耳を傾けていました。

### 八代地方果実品評会・宣伝会



▲晩白柚を試食する親子連れ

1月9・10日の2日間、八代地方果実品評会・宣伝会がイオンモール熊本(嘉島町)で開催され、柑橘農家が丹精込めて栽培した晩白柚と不知火(デコポン)が会場に並びました。販売会やアンケートによる抽選会なども行われ、会場を訪れた多くの親子連れなどが晩白柚をおいしそうに試食していました。

埼玉県草加市から訪れていた土田恵理子さんは「毎年、人吉に住んでいる弟が晩白柚を送ってくれます。草加では手に入りにくいので、自宅用に配送して楽しみます」と話しました。

### 火流の彩



▲竹灯籠文字「私の町日奈久 ゆったりほっころのんびり 2016」

12月31日、日奈久温泉神社広場一帯で年越しイベント「火流の彩」が行われました。

これは日奈久温泉の繁栄を祈願するもので、8回目になります。今回は同温泉の開湯608年にちなみ、6008本の竹灯籠が温泉街から温泉神社まで並べられ、参拝者を幻想的な雰囲気で見守りました。

イベント広場では年越しのカウントダウンや日奈久六郎太鼓による力強い演奏などが行われ、新年を祝いました。

### まなびフェスタやつしろ



▲オープニングを飾った八代工業高校と八代東高校合同の吹奏楽演奏

12月19日、まなびフェスタやつしろが千丁文化センターを中心に行われ、多くの人で賑わいました。

これは、学びの場や発表・活動紹介の機会を設け、市民の生涯学習への意欲を高めることを目的に開催されました。

日本舞踊やレクダンスの発表、茶道体験などがあり、参加者は各コーナーを楽しみました。

講演会では、日本体育大学の清原伸彦名誉教授が「集団行動の意義・大切さ・真心とは」と題し、心の教育の大切さについて話しました。